

だれのための つながりか



～対話から問い直す支援のあり方～

わたしたちは「つながる」ということを、どれだけ理解できているでしょうか。

「つながり」は孤立を防ぎ、安心や生きがいを支えます。支援者が、「生きづらさ」を抱える人に対して、「制度やサービス、地域の居場所などにつながってほしい」と考えるのは、とても自然なことです。でも、その「つながり」は、本当に本人が望んだものだったのでしょうか。支えようとする関係が、かえって負担や緊張を生み、支援が「監視」や「介入」と受け取られていないでしょうか？あえて支援から距離を置く人、支援につながれない人、つながらないことを選ぶ人がいます。支援機関への不信感、差別やスティグマ、過去の傷つき体験、制度への違和感など、さまざまな背景が「つながり」を遠ざけます。支援を使わない自由と、だれひとり切り捨てない地域社会の両立を目指して「顔や名前を明かさない関係」、「必要なときだけ接続できる関係」、「深くつながらないからこそ続く関係」などユニークな「つながり」の実践が試みられています。

本研修では、「支援がつながらない」と悩むあなたと、本人の意思を置き去りにしない「つなぎ方」を問い直します。

お申込みは裏面のFAX または QRコードから

日時

2026年10月31日(土)

13:30 - 16:30

受付 13:00 ～

会場

**鶴見区民センター
日建ホール（大ホール）**

鶴見区横堤5丁目3-15
大阪メトロ長堀鶴見緑地線
横堤駅4番出口から徒歩1分

参加費

無料

対象

医療・福祉等従事者
ご興味のある方

講師

伊藤 嘉余子 氏

大阪公立大学
学長補佐/現代システム科学研究科教授

内容

講義と事例による
グループワーク

問い合わせ先 鶴見区障がい者基幹相談支援センター TEL:06-6961-4631

主催 鶴見区障がい者基幹相談支援センター | **共催** 鶴見区地域自立支援協議会

「だれのためのつながりか～対話から問いなおす支援のあり方～」申込書

所属機関

お名前

電話番号

職種

MAIL

この研修会をどこで知りましたか？

1. 職場で配布された
2. 掲示を見た
(場所:)
3. その他
()

※中止の際にお知らせ致します。

備考 配慮等必要な方はご記入ください。

お申し込み方法

① FAXでのお申し込み

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、
下記番号までFAXにてお送りください。
FAX：06-6961-5525

② QRコードからのお申し込み

▶ お申し込みフォームはこちら

